

## 「鬼は外！ 福は内！」

鈴木 かよ子

華やかなお正月も過ぎ、もうすぐ節分。2月の声を聞くとあちらこちらで「鬼は外！福は内！」の声が聞こえてきます。自分の心の中の鬼に元気いっぱい豆をまき、邪気を祓おうというねらいです。

「鬼は外、福は内！」。「鬼は外で、福は内」？「自分にとって都合の良いもの寄っといで」、「苦しいことや災い、病気はいらないよ。自分に福なる物はどんどん受け入れるけど、都合の悪い物、不幸や苦しいこと・悲しいことは自分には来ないで」と、知らず知らずと考えてしまう愚かな自分がそこにいるのですが、なかなか気付きません。

人間は勝手なもので、「明日は旅行に行くので絶対晴れがいい。荷物も増えるし、傘は邪魔になるし、服も濡れてしまうから明日は晴れて！」と祈って天気予報とにらめっこ。一方、花の苗を植えた日は「一雨欲しいなあ。雨が降れば根もしっかり張るし、第一水やりをしなくて済むもの」と、今度は雨を願って天気予報を睨みつけます。「当たればラッキー、なんて運がいいんだろう」と。でも外れると、「自分はなんてついていないんだろう」と、不平不満・愚痴ばかりが残ります。本当に、本当に、自分勝手な我が身です。

人生は自分の思う通りにはならないものです。お釈迦様は、生きること、老いること、病や死などを苦と教えてくださいました。でも私達は何とか苦しいこと、つらいことから逃げよう、自分だけは助かろうと、浅ましいことを考えてしまいます。まさに凡夫です。阿弥陀様はそんな愚かな私達凡夫にもちゃんと救いの手をさしのべて下っているのですが、悲しいかな、自分の欲やエゴしかない私には、なかなかそれに気付かず、相も変わらず、欲やねたみ、自分勝手な世界に生きています。

まずはそんな自分、まさに凡夫であることを自覚して、苦しみから逃げるのではなく、素直に受け入れてみましょう。「南無阿弥陀仏」と合掌し、全てを阿弥陀様に委ねてみると、きっと、大きな安らぎが生まれることでしょう。

「泣き虫鬼、怒り虫鬼、わがまま鬼もどんどんやっといで」。「福は内！鬼も内！」